

令和6年度 第2回学校運営協議会 議事録

1 第2回学校運営協議会概要

日時 令和6年11月27日（水）15時～
会場 大阪府立岸和田高等学校 校長室

学校運営協議会委員

近畿大学教授	柴 浩司	様
岸城中学校校長	松下 孝徳	様（欠席）
岸城幼稚園長	小野 舞	様
同窓会会長	岸本 敬仁	様
P T A会長	道端 秀明	様
元後援会会長	山路 明子	様

学校側参加者

校長	植木 信博
教頭	田坂 太一
事務長	野村 文博
首席	中野 健一
首席	伊藤 功士
教諭（進路指導部長）	長谷川武央

2 次 第

(1) はじめに（司会：教頭）

① 校長挨拶

- ・お忙しい中ご出席いただき、感謝する。第2回は10月16日（水）に予定していたが、委員6名のうち3名が欠席となり、当日になって延期させていただく旨の連絡をさせていただいた。改めて日程調整させていただいたが、本日、岸城中学校の松下校長は校務のため欠席である。
- ・本日は前回お伝えしていたとおり、まずは授業をいくつか見学いただく。その後、協議を考えている。よろしくお願いします。

② 学校運営協議会委員の自己紹介

③ 本校職員の紹介

(2) 授業見学

1年「理数数学Ⅰ」→2年「理数物理」→2年「古典探究」

(3) 協 議

① 学校経営計画の進捗について

- ・学校経営計画に記述した項目に対する評価については、12月に実施する学校教育自己診断の結果などをもとに記述することになるため、2月に実施する第3回の学校運営協議会において話しをさせていただく。
- ・本日は今年度5月に新たに作成した学校案内パンフレットと行事予定表を活用し、改めて、本校が実施する取組などについて説明させていただく。

- ・まずはGraduation Policyについて。3年間で生徒たちにどのような力をつけるのかを4つの文章で示している。生徒たちには何事にも主体的に、しんどいことにも粘り強く、多くのの人たちと一緒に取り組むことで、学力のみならず、思考力・判断力・表現力や英語運用能力、コミュニケーション力やリーダーシップなど様々な力を付け、大きく成長してもらいたいと考えている。また、多様性や協働性、人間性の育成をめざしている。
- ・学校行事では今年度から台湾修学旅行を5年ぶりに再開した。2日めには姉妹校である景美女子高級中学との交流を行った。それに先立ち4月には景美女子高級中学の生徒32名が本校を訪れており、台湾で再会する形となった。
- ・部活動については兼部を含めると95%以上の生徒が入部しており、とても活発である。部の数も運動部20部、文化部25部の合計45部ある。この45部というのは先日テレビ大阪の番組取材で分かったが、府立高校では1番多い。ここ最近では、陸上競技部や少林寺拳法部、演劇部などが全国大会に出場している。
- ・「第一希望の進路実現」にあるとおり、本校では独自に、難関大学進学をめざした1年生を対象とした「ハイレベル講習」を実施するとともに、2年生から難関大学進学をめざした「スーパークラス」を設置している。また、高い志を育む取組として、希望者を対象とした「東京方面大学ツアー」、1, 2年生を対象とした「大学出張講義」、1年生を対象とした「OB・OG講演会」を実施している。
- ・この春卒業した学年では、東京大学に現役で1名合格するとともに、京都大学に2名、医学部医学科に3名合格するなど、大きな成果をあげた。
- ・GLHSにあるとおり、本校は平成23年度から大阪府よりグローバルリーダーズハイスクール10校のうちの1校に指定、そして平成30年度から文理学科のみの募集になった。GLHS 10校では協働した取組として、10校合同海外研修、GLHS 合同発表会、京都大学キャンパスガイド、大阪大学ツアーなどを実施している。
- ・また本校独自に、グローバルリーダー養成プログラム（校内版）、イギリス研修、オーストラリア研修、ENGLISH CAFÉ、韓国高校生とのオンライン交流、中国語講座、韓国語講座などを実施している。これらについては後ほど詳しく説明させていただく。
- ・課題研究については2年生で取り組んでおり、年2回の発表会（9月の中間発表会と1月の最終発表会）を開催している。課題研究を実施している成果として、大阪府学生科学賞において、2年連続で大阪府知事賞を含む最優秀賞2本と優秀賞1本を受賞した。特に昨年度大阪府知事賞を受賞した研究は日本学生科学賞において文部科学大臣賞も受賞した。この成果を今後も継続していきたい。
- ・SSHにあるとおり、本校は平成23年度から文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールに指定されている。今年度は第Ⅲ期の3年めとなる。SSHとして、探究スタディーツアーや生物フィールドワークを実施している。第Ⅲ期に入り、新たな取組として3年間を通して科学技術人材の育成をめざす“プロジェクトNova”を実施しており、大阪サイエンスデーで優秀賞を2本とるなど、成果をあげている。パンフレットの説明については以上である。

② 広報関係について

- ・今年度の岸高見学会については、塾生を対象とした見学会を6月に実施するとともに、8月に2日間、そして11月に1日実施した。なお、11月に実施した見学会では今年度初めて2部制で実施した。これらの見学会では、オープニングセレモニーとして部活動披露を行うとともに、生徒へのインタビューを行うなど、生徒にも参加してもらっており、好評を得ている。
- ・校外の説明会については、これまでの対応実績などを踏まえ、参加するものを絞った。
- ・今年度は学校Webページの更新にも努めた。また、今年度から新たに公式Instagramを開設し、生徒の様子を動画などにより発信している。学校HPにもリンクをつけたので、保護者や中学生に広く本校を知ってもらえるようになった。また、探究InstagramやSSH探究noteを用いて、SSHの取組の発信にも努めた。

③ GL関係行事について

- ・グローバルリーダー養成プログラム（校内版）は8月5日～8日の4日間、海外からの留学生などをリーダーとしたグループで、ディスカッションや様々なテーマに取り組むプロジェクトなどの活動をすべて英語で行う。例年は90名ほどの生徒が参加していたが、今年度はイギリス研修を校内版と重なる時期に実施したため、参加者は39名となった。プログラムに対する評価はとても高い。
- ・オーストラリア研修については、コロナ禍の中実施できていなかったが、昨年度3月に再開したところ、49名の生徒が参加してくれた。ホームステイをしながら、現地の学校に通い授業を受けることを主な内容としている。参加した生徒の満足度はとても高い。
- ・イギリス研修はオーストラリア研修（3月）とは異なる時期に、異なる内容の海外研修を実施したいとの考えから、今年度8月に新たに実施した研修である。大学寮に宿泊し、海外からの高校生と一緒に様々なアクティビティを行うものである。35名の生徒が参加してくれた。
- ・9月23日には日本文化体感プログラムを実施した。海外からの留学生と高校生がグループとなり、岸和田城やだんじり会館、五風荘など岸和田のまちを散策した後、振り返りのワークショップを行うプログラムである。歴史街道推進協議会が主催する取組で、本校のみならず、府立和泉高等学校、府立久米田高等学校、岸和田市立産業高等学校を対象としている。

④ 課題研究（探究学習）について

- ・9月12日（木）に文理課題研究発表会（中間発表）を開催した。今回はポスター発表のみで、体育館で46本、北選択教室で10本、岸高ホールで32本の発表を行った。
- ・評価委員からは「生徒が生き生きと楽しそうにしている」と評価される一方で、「テーマが深掘りされていない生徒もいる」との意見もいただいた。今年度から全学年が同時展開で一斉に探究活動を行う「縦割り型課題研究」の取組を開始した。SSH第4期指定に向けて、引き続き、探究活動のさらなる充実に努めていきたい。

【質疑応答】

（委員）（柴様）

岸和田高校の多様な活動が、今の多様な生徒に合うようになってきているように感じる。例えばGLプログラムについても各家庭の金銭的事情に応じてGLP校内版と英国研修をについて選べるようになってきていることが良いと思う。様々な取組を行っている中、先生方の超過勤務削減についてはどうか？またストレスチェックはどうか？

（学校）（校長）

時間外在校等時間について直近の2年間は数値の上でも改善傾向にある。昨年度平均時間は前年度と比べ、およそ15%減となっている。ただし、80時間を超える教員の人数は変わっていない状況であり、昨年度は5人いた。ストレスチェックについても、校内平均の値はこの2年間、大きく改善している。今年度についてはまだ回答をもらっていない。

（委員）（道端様）

昨年度の実績を見て5人に1人が浪人している。そのことについて、保護者の立場として、意見は様々ある。浪人生の動向はわかるのか。浪人生の成果はどうか。

（学校）（長谷川）

浪人生は調査書を学校に取りにくる必要があるのですが、その時に状況や動向などについてコミュニケーションをとっている。受験結果報告書により、ある程度は把握できていると考えている。全員ではないが本人が志望した大学に合格した生徒も多くいる。

（委員）（道端様）

岸和田高校にロッカーがないことについて、PTA会長に尋ねてくる保護者がいる。そのことについて回答したいが、どのように答えればよいか。

(学校) (校長)

ロッカー設置については、校長として着任した一昨年度の学校教育自己診断において、生徒・保護者から多くの意見があり、設置に向け前向きに検討した。ただ、本校は教室、廊下が狭く、安全面の観点からロッカーの設置は場所的な問題で設置を断念せざるを得ないと判断した。このことについては、昨年度の1学期終了前に保護者あて文書にてお伝えしたところである。

(委員) (岸本様)

ロッカーの設置については同窓会会長である私も聞いていない。

(学校) (校長)

ロッカーの設置については一昨年度から昨年度にかけて動いたものであるから。

(委員) (岸本様)

大学進学実績について、私自身は思ったより現役進学者が多い印象を受ける。関東の大学進学は少ないように感じる。生徒たちはもう少しチャレンジしてはどうかと思う。

(委員) (小野様)

幼稚園での教育において「これってなんだろう?」「不思議だな」って思う子どもたちの気持ちを大事にしていくことが、高校生になった時の課題研究などにつながるように感じたので今後の教育活動に繋げたい。

3 今後の予定

第3回 2月12日(水) 15:00～

4 校長より

ちょうど終了予定の時刻になった。本日は長時間にわたり、貴重な意見をいただいたことに感謝する。先ほどお伝えしたとおり、次回の2月12日(水)には令和6年度学校経営計画に対する学校評価、および令和7年度学校経営計画について、ご議論いただく予定である。引き続き、よろしくお願いします。